

輝いている人を紹介します

まちのキラリ

J3 プロサッカークラブ
「いわてグルージャ盛岡」所属

佐藤 未勇 さん
(伊達地域 伊達FC 出身)

幼少期からサッカーに没頭し、昨年、伊達市出身で初のJリーガーとなる。チームにはベテランが多く、「学ぶ機会が多い」と向上心たっぷりに話す佐藤さん。期待される2年目の抱負やJリーグ経験を伺った。



©IWATE GRULLA MORIOKA



Profile ●さとう みゆう

2000年生まれ。23歳。父の影響でサッカーを始め、小学5年生まで伊達市で育つ。東北学院高校、神奈川大学を経て、現クラブに入団。2023年シーズンはルーキーとして27試合に出場し、4ゴールをマークした。



©IWATE GRULLA MORIOKA

いわてグルージャ盛岡

岩手県をホームタウンとする、日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)に加盟するクラブ。「グルージャ」はスペイン語で「鶴」という意味。盛岡藩藩主南部氏の家紋が由来。J2再昇格を目指し、チーム一丸で戦う。

ここだけしか味わえない空気感

Jリーグに初出場した時、夢見た舞台で緊張もありましたが、サポーターが近くで応援するスタジアムの雰囲気は「プロじゃなきゃ味わえない特別なもの」だと感じました。

フォワードとして点がなかなか決められなくて、良いプレーができず苦しい時もあります。でも、自分は、「うまい」ではなく「がんばる」プレイヤーだと思っているので、これからも結果を示せるように努力します。その姿を見てほしいです。

常に一番になりたい子ども時代

昔はサッカーが本場に下手で。でも、当時のコーチに「走り回れることがすごい」と褒め

伊達市は特別なところ

市外で活動していても応援してくれる人がたくさんいて、顔を出すといつでも温かく迎え入れてくれるのが伊達市の魅力だ



▲小学校時代の佐藤さん(中央)最後まであきらめないプレーはここからスタート

られ、まんまと乗せられてサッカーにのめり込みました(笑)。まずは体力をつけるため、走りでも一番を目指し、練習しました。「ももの里マラソン大会」で上位に入賞したこともありましたね。

と思います。

サッカーを通じてできること

サッカーを始めて17年目になります。今までの人生の半分以上ですから、切っても切り離せないものですね。

自分自身がもっと力をつけて有名になることで、子どもたちが夢を追えるような存在になりたいですし、プロで活躍すること、今まで関わった人たちに恩返ししていきたいです。



▲育ててくれた伊達FCの練習に毎年参加し、本人も子どもたちも良い刺激になっている。